

ほくでんグループ

サステナビリティレポートについて

本レポートの発行にあたっては、一つはステークホルダーの皆さまに対する説明責任、もう一つは、ほくでんの基本的な考え方、取り組み内容とその結果について、皆さまからご意見・ご感想を頂戴することの、二つの目的があると考えています。

本レポートの発行は「ほくでん環境行動レポート」から通算して14号、サステナビリティレポートとしては4号目となります。

持続可能な社会の構築に向けたほくでんの活動は常に完成に向けた途上にあり、これを皆さまと一緒に作り上げていきたいと考えています。そのための契機として本レポートにお目通しいただき、皆さまからの忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

2008年度のCSR活動

2008年度の主な活動は次の通りです。

●コンプライアンス

「ほくでんグループCSR行動憲章」のグループ大での浸透・徹底などに向けた諸活動を実施しました。

研修・勉強会、役員コンプライアンス研修、セミナー、メールマガジン配信などにより従業員のCSRへの理解促進・意識定着を図りました。

適正な企業活動の実践のため、業務運営リスクを洗い出し、全社横断的な管理を実施しました。

個人情報保護を含むコンプライアンスにかかわる情報共有・意見交換のためグループ各社との情報連絡会を実施しました。

●IR

経営計画・年度決算説明会、中間決算説明会、機関投資家訪問、証券アナリスト対象施設見学会などの資本市場関係者とのコミュニケーションを行ないました。

●環境

ほくでんグループ全体で取り組んでいる「ほくでんエコワーク運動」などを通じて、全事業所での省エネ活動を展開しました。

2008年3月に設置した「省エネルギー対策委員会」で、部門間の連携強化や、法改正を踏まえた効果的対策の立案、推進を行ないました。

PCBや石綿など有害物質への対応を実施しました。

●コミュニケーション

広報紙「あなたのでんき」を隔月発行から毎月発行に変更し、情報発信の充実を図るとともに、ホームページのサイト改善とコンテンツ充実など使いやすさの向上を図りました。

地域の方々との対話・ふれあい活動に積極的に取り組みました。

●地域貢献

地域活動・ボランティア活動など、従業員の社会的活動への参加に対して支援を行ないました。



北海道電力株式会社 取締役副社長
コーポレートコミュニケーション本部長

西村 求